

「勇気づけのピアノレッスン」 No.18

＝「個性を伸ばす」こととは？＝

20年以上前、私が公立中学校で教鞭をとっていた頃のことです。私の赴任先の中学校では「ひとりひとりの個性を伸ばす」という教育目標を掲げていました。その頃も今も、やはり「個性を伸ばす」ということは、教育の大きなテーマのひとつとなっています。私も当時から、子どもたちはみなそれぞれ、素晴らしい資質や才能、個性があると感じていました。そして、それを伸ばすために、教師にできることは何だろうと考えていたのです。ピアノ教師となった今も、その考えは変わりません。

＝芸術はセンスが大切？＝

私は幼い頃、絵を描くことがとても苦手でした。元々センスがないのか、飽きっぽい性格なのか、自分の思うような絵が描けず、図工の時間はとても苦痛なものでした。今思えば、ただ好きなように自由に描けばそれで良かったはずですが、でも、それができませんでした。

当時は相対評価でしたので、評価も自分の納得のいくものではなく、いつも通知表をもらう時にドキドキしていた記憶があります。そんな私がおとなになって、ある素晴らしい美術の先生と出会いました。「誰でも絵が描ける」という本を執筆されている松本キミ子先生です。先生のことは、実際にお会いする前から、本を読んで知っていたのですが、教員研修の講座に、先生のお名前を発見した時は本当に嬉しくて、私はすぐに申し込みをしました。苦手だと思っていた絵がこんな私にも描けるかもしれないと思ったからです。おとなになってまで、しかも音楽の教員が今更…という気持ちも少しはありましたが、どうしても先生にお会いしたくて、講座に参加させていただきました。子どもの頃、苦手だと思っていた「絵を描くこと」。でも、先生が教えてくださる方法で筆を進めていくと、不思議なことにあっという間に素敵な絵になっていきました。自分で言うのもおこがましいのですが、私らしく個性的な絵が描けるようになっていったのです。それもたった一回の講座を受けただけで。とても衝撃を受けました。苦手だと思っていたのは、自分の思い込みに過ぎなかったのです。少し発想を変え、技術を学べば、苦手な私にもこんなに個性的な表現ができるのだということ、この時初めて知りました。

＝まずは気づくことから＝

キミ子先生はおっしゃいます。「個性って、元々みんな既にもっているものなのよね。」その言葉を聞き私は、個性というものは、まず自分自身の素晴らしさに気づくことから始まるのではないかと考えるようになりました。教師やおとなは子どもたちが既にもっている素晴らしい個性に気づき、また本人に気づかせてあげることが大切なのではないかと。それによって、子どもたちは自ら伸びていく。私たちおとなができること。それはほんの少しの配慮と援助なのかもしれません。

松井美香

元気と笑顔がトレードマーク「勇気づけの音楽家」・音楽指導者・教育カウンセラー・「藤沢勇気づけの会」代表。東京音楽大学ピアノ専攻卒業。
 <HP>～松井美香ピアノ教室～ <http://matsuumika-piano.net/>
 <Facebook> <https://www.facebook.com/mika.matsui.94>
 <ブログ>「勇気づけ100の指導法で子どもと親の自己肯定感を育てる」 <http://ameblo.jp/makeachangewithlove>
 <メールマガジン無料配信中>「ピアノの先生のためのモチベーションアップ術」
 ※ブログの登録欄にメールアドレスと氏名を書き込むと定期的に購読できます。

アナリーゼの決定版!! ソナチネ・アルバムI ついに完結!

◆アナリーゼの技法◆

ソナチネ・アルバム I

ハイドン/モーツァルト/ベートーヴェン/ドゥシエク

■菊倍判/88頁/2C/本体価格 1,600円(税別)

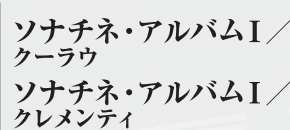
発売中

鴉崎庚一



♪色分けされてわかりやすい

好評発売中 ■菊倍判/72～88頁/2C/本体価格 1,600円(税別)



ソナチネ・アルバムI / クーラウ
ソナチネ・アルバムI / クレメンティ

糸桶集部のつづきだったー!

最近話題のDIY女子です。知り合いにもらった電動鋸を早く使いたい! 手動だと翌日、筋肉痛で腕が使い物にならないのです。(お)

Twitter [subuyaitter](https://twitter.com/subuyaitter) follow me!

Twitter [@gakken_music](https://twitter.com/gakken_music) 日々のよしなしごとや最新情報をツイートしています!

Web版もあがる! バックナンバーが閲覧できる! Webならではの情報が満載!

学研 おんがく通信

8月号 2015年7月25日

Gakken

株式会社学研パブリッシング 音楽事業室
〒141-8412 東京都品川区西五反田2-11-8 16階
TEL: 03-6431-1220

学研 おんがく.net <http://gakken-publishing.jp/ongaku/> twitter @gakken_music
電子書籍ストア 学研 BookBeyond <http://bookbeyond.jp/> Facebook gakken.music

ある年の夏休み、陶器の絵付け体験をしました。乾いていない絵の具を手で擦るなど、思うように描けませんでした。今でも棚に飾ってあります。旅先で作ったものってうまくできなくても特別な思い出になりますね。(お)

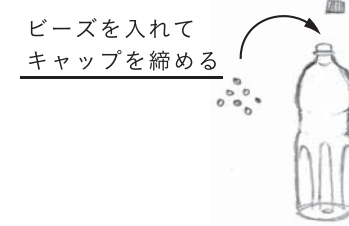
夏休みスペシャル

自由研究にもぴったり! 手作り楽器で音楽を楽しもう!

待ち望んだ夏休みが到来! みなさん、予定はお決まりですか? アクティブにお出かけも良いですが、長いお休みを利用して、身近な素材を使った工作にチャレンジしてみたいか? 今月号は「手作り楽器」についてご紹介いたします。小学生のお子さんには、夏休みの自由研究にもご活用いただけると思います。ぜひ参考になさってください。(の)

★マラカスを作ってみよう! (対象: 幼児)

手作り楽器を使って大好きな童謡やアニメソングに合わせて楽しく踊りましょう! おすすめの手作り楽器は、「マラカス(シェイカー)」! 容器や中に入れるものを変えるだけで音色が変化しますので、いくつか作って、音楽の雰囲気に合わせて使い分けのもおもしろいです。おすすめの手作りマラカスは、ペットボトルとビーズを使ったもの。ペットボトルにカラフルなビーズを入れ、キャップを締めて、できあがりです! マラカスを振ると、カラフルなビーズが揺れてとてもきれいです。



ヒント
ゆったりとした曲はビーズなどの細かいもの、元気な曲にはあずきなど少し大きめなものがGOOD!

★ドレミを鳴らしてみよう! (対象: 小学生)

手作り楽器でド・レ・ミ…と音階を奏でられたら、素敵だと思いませんか? 透き通った美しい音色の「グラスハープ」を作ってみましょう。ガラス製の足付きグラス(ワイングラスなど)に水を入れ、その縁を水で濡らした指でこすると音が鳴ります。音の高さは、グラスのサイズや厚み、グラスの中の水の量で変わります。音を鳴らすことに慣れてきたら、グラスをいくつか用意をして、音階を作ってみましょう!



ヒント
水の量が増えると低い音に、減ると高い音になります。

◆書籍「あなたがつくる おんがくえほん おもちゃのぼうけん/せかいのたまご/やまのおんがくかい」 ■各: A4横/本体価格 1,200円(税別) 絵本を作りながら、音楽体験もできます。「おもちゃのぼうけん」「せかいのたまご」は、ペーパークラフトのマラカス付きです。
 ◆以前「おんがく通信」で、手作り楽器を特集しました。「学研おんがく.net」でバックナンバーがダウンロードできますので、ぜひこちらも参考になさってください。
 手作り楽器の作り方をご紹介した号は [こちら↓](#)
 シェイカーいろいろ (2013年12月号) ペットボトルのギロ (2014年1月号) スチレン皿の琴 (2014年2月号)

ピアノの森から

田丸信明先生のすてきなオリジナル曲をご紹介します

第15回

夏本番! 夏といえば、お祭り。そこで今月は「ピアノの森」第1巻に収録されている、「おみこし」(田丸信明 作曲)をご紹介します。たった8小節の曲ですが、「わっしょい、わっしょい」の掛け声のリズム、そしてお囃子の調子が見事に凝縮されて詰まっていますから、お祭り気分がいっぱい! 導入レベルの生徒さんでも弾いて盛り上がる事、間違いありません。2小節の「予備練習」を少しさらってから練習すると、弾きやすくなります。(か)

Lento

大人のレッスン

Lesson.12

黒田篤志 くらた・あつし
1973年生まれ。早稲田大学修士課程修了。日本アマチュアピアノコンクール7位入賞。出版社にて楽譜と書籍の編集を担当。現在小山市で、大人のピアノ教室「Lento レント」を主宰するかたわら、フリーの編集者、ピアニストとして活動中。
http://ameblo.jp/pianote0519/

黒田先生があなたの質問にお答えします！

ピアノの先生の皆さま、大人の生徒の皆さま、日々レッスンの中でお困りのことはございませんか？黒田先生が皆さまのお悩みにお答えいたします。どんな些細なことでもOKです。お気軽にご質問くださいませ！

質問は、おながく.net内のレッスンQ&Aコーナーまで♪
http://gakken-publishing.jp/ongaku/hiroba/lesson/rule.html



12回の連載も今回で最後になりました。今回は私の個人的な体験からお話しをはじめたいと思います。これまで私は、トッププロから初学者まで、いろいろな人の演奏を聴いてきました。そこでひとつ気になることがありました。それは「美しい音」についてです。かなりうまく弾くのにあまりよくない音を出す人もいれば、たどたどしい演奏なのにきれいな音を出す人もいました。そして心地よく印象に残った演奏は、いつも後者の演奏でした。そうした演奏は、むしろ音が少なめの遅い作品に多かったと思います。作品の音ひとつひとつをていねいに紡ぎ出しているような演奏には、「美しい音」を感じました。そしてそのように感じるのは、個人教室の発表会で聴く大人の演奏であることが圧倒的に多かったと記憶しています。そうしたなか、私なりに「美しい音」を感じる理由を探ってきました。「美しさ」を感じる基準は人それぞれでしょう。しかし私なりに「いいね！」と感ずることができた演奏は明確にありました。少々飛躍があるかもしれませんが、「確立された個性と作品とが向き合ったときに美しい音がつけられる」と今は考えています。演奏者側にゆるぎない自分があるこそ、作品と対等に向き合うことができるからなのかもしれません。

ピアノの作品は、子どものための小品や練習曲をのぞけば、大人のために作曲されたものがほとんどです。ある程度の人生経験を踏まえていないと、作品のよさを感じることは難しいでしょう。

これはまともに「作品と向き合える」ということです。さらに、大人の個性はそう簡単に変えられるものではありません。しかしこれは見方を変えると、「確立された個性と作品」に相当します。つまり、大人になってピアノが弾きたいという人には「美しい音」をかもしだす条件がすでにそろっている、ということなのです。あとはピアノを演奏する技術や楽譜の読み方などのテクニカルなことに、ゆっくりと継続性をもって取り組みさえすればよいわけです。こうしたことをひとりでも多くの人に伝えたいという想いが、ピアノ教室「レント」をはじめたきっかけになりました。

趣味をもちたいけれど何をしてよいかわからないという大人の方も多くなか、具体的に行動を起こすことにはとても大きな意義があります。また、作品を演奏するために試行錯誤することは創造行為ですから、ピアノを弾く人はすでに芸術家といえるでしょう。つまり、大人になってからピアノをはじめるとは、芸術家として一歩を踏み出すことに等しい！だからとても素晴らしいのです。ただそれだけに、指導する側には、大人の方と対等に向き合う芸術をともに語り合う態度が、求められると改めて思います。数ある趣味のなかでピアノに向き合うこと自体、稀有なことではないでしょうか。自分でピアノを選んだのではなく、ひよっとするとピアノに自分が選ばれたのかも知れません。1年間ご愛読いただき、ありがとうございました。

黒田篤志



今月のあかね先生

『ピアノのほん』&『ピアノのほんレパートリー』収録曲紹介

いよいよ夏本番！旅行にキャンプ、花火大会と、夏はワクワクすることがいっぱいですね。今回は、夏休みにピッタリの2曲をご紹介します♪



♪「絵日記」(『ピアノのほん②』P.21より)

「きょうもいちにち、たのしかったな。」
眠る前に、まいにち欠かさずつけている絵日記。真っ青な空、わたあめみたいにふわふわな入道雲、キラキラとまぶしい海、ニッコリとほほえむひまわり。あざやかな夏の思い出を切り取って、色とりどりのクレヨンで命を吹き込む…右手の元気なメロディからは、そのような楽しい様子が浮かびます。そして、その様子をやさしく見守る時の流れのように、左手はゆったりとした伴奏になっています。ほんわかとしたあたたかさが伝わってくる曲です。



♪「こわくなんかないぞ」(『ピアノのほんレパートリー②』P.14より)

まっくらな夜道を、ゆかた姿の男の子と女の子が歩いています。「ねえ、やっぱり戻ろうよ…」「だ、大丈夫だよ！こわくなんかないぞ！」不安げな女の子の問いかけに、強がる男の子。どうやらふたりは肝試しをしているようです。冒頭から登場するスタッカート4分音符は、そろそろと進んでいくふたりの歩調のようで、はりつめた雰囲気は伝わってきます。そして、曲中で何度も登場する黒鍵が、あやしげな雰囲気を作り出すスパイスに。はたしてふたりはちゃんと戻って来ることができるのでしょうか。続きが気になる曲です。



「3年で出来ること。」

金丸文武 & Shota Miyake

トークライブレポート



Prologue
「何か面白いことしよう」。始まりはそこから。6000円とギターと寝袋を持って世界一周に出た金丸文武は旅中にパリで一人の写真家と出会った。Shota Miyakeという新進気鋭の写真家。それからお互いに世界を飛び回り、数年後に日本で再会を果たした。そこで二人で話したのが、「何か面白いことをしよう」というキーワード。お互いに夢を掲げた。期限は3年。夢を見るならデカイほうがいい。デカイ夢を見よう。その第一歩となる決起集会。(「3年で出来ること。」特設HPより)

東京都にある世田谷区民会館で、ストリートミュージシャン金丸文武さんと写真家Shota Miyakeさんによるトークライブが7月3日に開催されました。あいにくの大雨でしたが、多くの来場者に恵まれ、大盛況のうちに終了しました。後半のステージは、金丸氏とMiyake氏による本ライブの主旨でもある「3年で出来ること」についてのトークショーです。金丸氏は「紅白出場」、Miyake氏は「MoMA美術館で個展開催」という目標を掲げました。達成できない場合は、罰ゲームも用意されているのだとか…。さらに入場時にお客さまからいただいた、3年以内に叶えたい夢や達成したい目標の一部を紹介し、会場全員でシェアし応援し合う…というコーナーもありました。夢や目標は異なりますが、決意表明をし応援をしてもらうことで、わずかですが不安が晴れるような、そんな気がしました。そして金丸氏のライブへ。世界一周時にギターひとつで毎日路上ライブを重ねていた姿からは想像しがたい、美しい透き通った歌声が響き渡りました。(そのギャップが良いです！) 歌声とともにスクリーンに映し出された写真は、金丸氏が世界中で出会った方々の笑顔。時折、世界一周時のエピソードを交え、愛に満ち溢れた和やかな時間でした。終演後には、金丸さんにサインを求める長蛇の列が…！遠方からお越しになったブログ読者、路上ライブで見かけたファンなど、大勢の方々に囲まれ、たくさんの方のエールを受け取っていました。3年後に向けて、彼らがどのように変化をしていくのか、今後の活躍にも期待です！皆さんの3年後に叶えたい夢や達成したい目標は、何ですか？(の)



金丸文武 リリース情報



書籍
「世界の路上で生まれた奇跡」
学研パブリッシング



CD
「アンダルシアの風」
UNDER HORSE RECORDS (UHR-43)

つむりの練習手帳

この数ヶ月、運動会とか何とか言ってピアノをサボるだけサボったつむり。昨日の練習はひどいもので、ヘタクソな上に、ちょっと弾いただけでピアノからちょろちょろ離れてお茶飲んだりおやつ食べたりしてばっか。ママに言いつけたら、つむりの練習の坎シを頼まれちゃって、またとばかりくっちゃった。やらないけどね。(トホホお兄)

つむり現在の楽譜
☆ハノン・ピアノ教本
☆ル・クーペ
ピアノのアルファベット

編集部チョイスおすすめの1曲

ねずみのかくれんぼ (田丸信明)

レベル:★☆☆☆

ねずみさんたちは どんどこどこで
かくれんぼを するのかな？

小さいねずみさんたちが、
ちょろちょろ動いている…
そんなイメージをさせる曲です。

掲載楽譜
びあのどリーむレパートリー1

